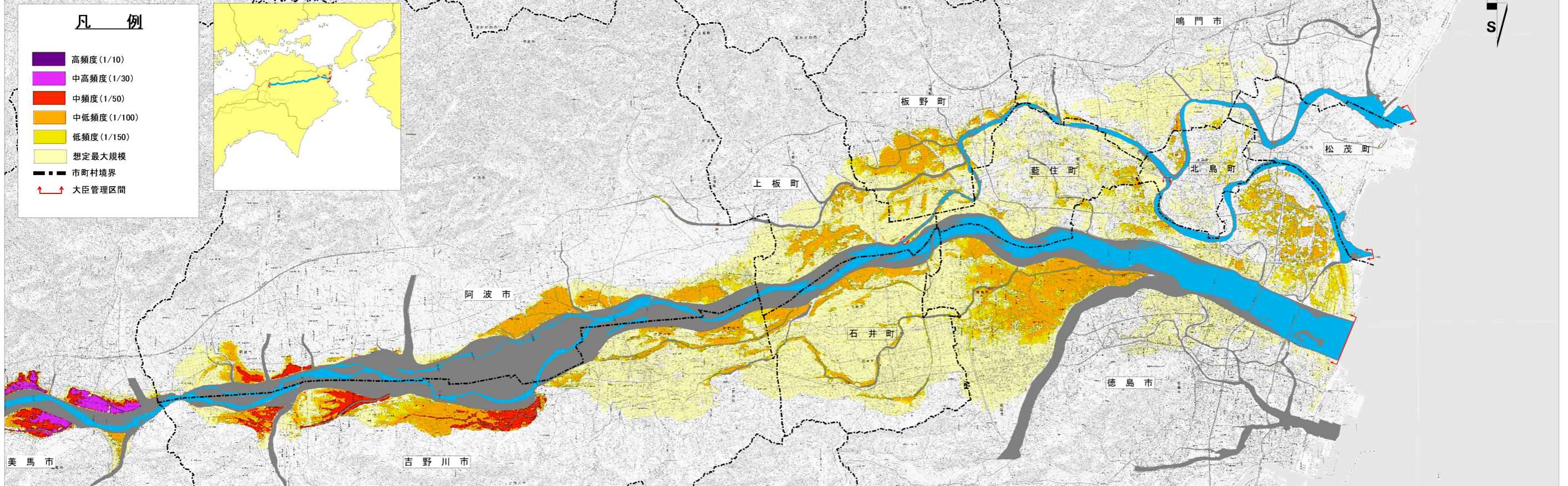


浸水深3m(1階居室浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

吉野川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】【総括図】



- 凡 例**
- 高頻度 (1/10)
 - 中高頻度 (1/30)
 - 中頻度 (1/50)
 - 中低頻度 (1/100)
 - 低頻度 (1/150)
 - 想定最大規模
 - 市町村境界
 - ↔ 大臣管理区間

説明文

(1) この水害リスクマップ(外水氾濫※1)は、流域治水の推進を目的として、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模の降雨における外水氾濫による想定浸水域等を示す多段階の浸水想定を重畳させたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深3m(1階居室浸水相当)以上)を示した図面です。

(2) この水害リスクマップ(外水氾濫)は、【現況(令和2年度末時点)】における吉野川、旧吉野川、今切川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨に伴う洪水により吉野川、旧吉野川、今切川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実地にあたっては、気象庁(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前線となる降雨や河川条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果です。この水害リスクマップ(外水氾濫)に示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本計画の基本的水害対策の降雨の考え方(降雨波型(吉野川、昭和49年9月型、旧吉野川、今切川、昭和47年9月型)、確率雨量など)を用いているため、既に公表している水防法に基づく浸水想定区域図、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

基本事項等

(1) 公表年月日 令和4年9月16日

(2) 作成主体 国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所

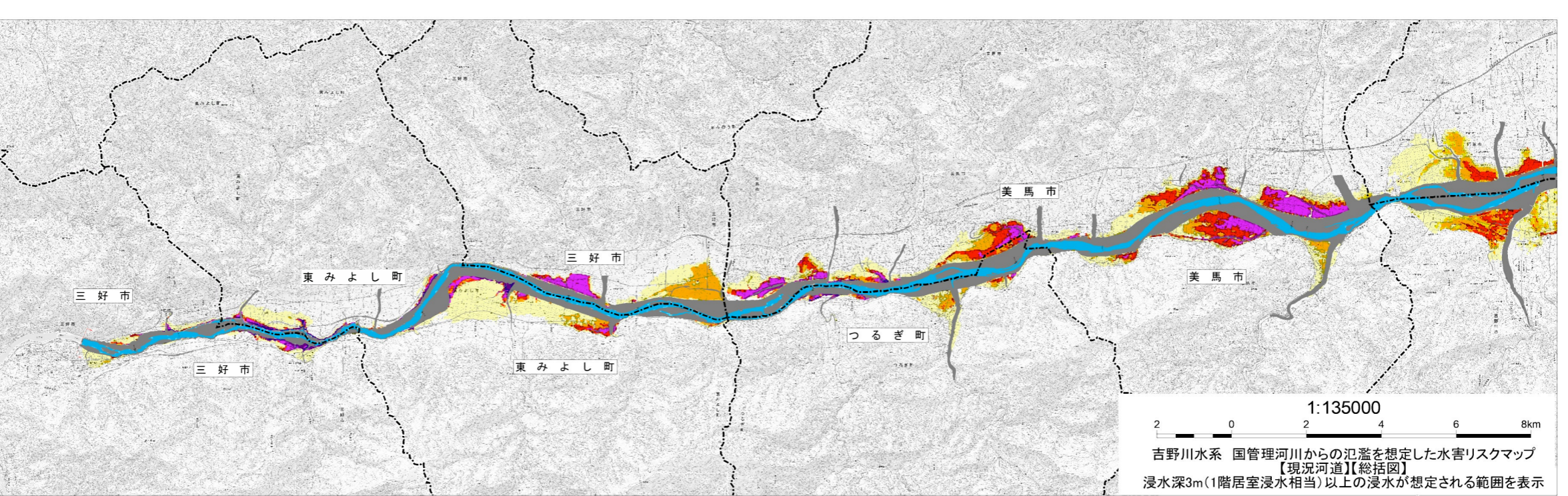
(3) 実施区間及び対象となる河川
【徳島河川国道事務所】
・吉野川 左岸: 徳島県三好市志田町西山字穴澤地先から海まで
右岸: 徳島県三好市志田町字マモ光から海まで
・旧吉野川 左岸: 吉野川からの分派点から海まで
右岸: 吉野川からの分派点から海まで
・今切川 左岸: 旧吉野川からの分派点から海まで
右岸: 旧吉野川からの分派点から海まで

(4) 算出の前線となる降雨
・年超過確率 1/10 (吉野川: 岩津地点上流域の2日間の流域平均雨量322mm)
(旧吉野川・今切川: 大寺地点上流域の2.4時間の流域平均雨量261mm)
・年超過確率 1/30 (吉野川: 岩津地点上流域の2日間の流域平均雨量371mm)
(旧吉野川・今切川: 大寺地点上流域の2.4時間の流域平均雨量325mm)
・年超過確率 1/50 (吉野川: 岩津地点上流域の2日間の流域平均雨量392mm)
(旧吉野川・今切川: 大寺地点上流域の2.4時間の流域平均雨量353mm)
・年超過確率 1/100 (吉野川: 岩津地点上流域の2日間の流域平均雨量420mm)
(旧吉野川・今切川: 大寺地点上流域の2.4時間の流域平均雨量391mm)
・年超過確率 1/150 (吉野川: 岩津地点上流域の2日間の流域平均雨量440mm)
(吉野川下流域(岩津-河口): 岩津地点上流域の2日間の流域平均雨量765mm)
想定最大規模※2 (吉野川: 岩津地点上流域の2日間の流域平均雨量1135mm)
(旧吉野川・今切川: 大寺地点上流域の2.4時間の流域平均雨量1135mm)

(5) 河道条件 現況(令和2年度末時点)

(6) 関係市町村 徳島市、鳴門市、吉野川市、阿波市、美馬市、三好市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、上板町、つるぎ町、東みよし町

※1 外水氾濫: 洪水位の上昇及び工作物の影響による越水・溢水・破壊氾濫、無堤防の溢水氾濫、堤防決壊による破壊氾濫、高潮による破壊氾濫。
※2 想定最大規模の浸水想定は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表しているため、計算条件が異なります。



測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 4Jhf 155
本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所